

チャレンジショップが契機となり賑わいの創出につながった

## 佐賀関商工会議所

機関名	佐賀関商工会議所			
所在地	大分県北海部郡佐賀関町大字関2232-110			
電話番号	097-575-1000			
地域概要	(1)管内人口	1万2千人	(2)管内商店街数	3商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	3商店街	(2)会員数	86商店
	(3)空店舗率	14.4%	(4)大型店空き店舗数	0店
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

### 【事業名と実施年度】

平成14年度 空き店舗対策事業

- ・チャレンジショップとオープニングフェスティバル等のイベントの実施

- ・ふれあい情報サロンの開設

- ・アンケート調査、通行量調査の実施

総事業費

12,233千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

佐賀関町は九州東端の半島に位置し、県都大分市と県南の中心である臼杵市といった二つの市に挟まれた町である。また北は瀬戸内海、東は太平洋に繋がる海の恩恵を受けた町であり、「関あじ・関さば」のブランドを作り上げることに成功した。

佐賀関町では、人口流出に加え、隣接する大分市大在地区の宅地整備にともなう購買流出が起きており、これが中心市街地の衰退につながった。

町の中心市街地には、3つの商店街があり、それぞれが中心市街地中央部で交差しているが、転廃業等に伴う空き店舗問題が深刻化しており、平成13年10月現在で、3商店街の平均空き店舗率は14.4%となってしまった。

このため、平成14年度「中心市街地空き店舗対策事業」として、空き店舗の有効利用を図り、空き店舗の解消、商店街機能の充実及び活性化を促進することとなった。



佐賀関町の位置

## 佐賀県商工会議所

### 2. 事業内容

中心市街地空き店舗対策事業は、商店街に不足している業種を中心に新規開業者等を誘致し、ギャラリーなど公共的施設利用のスペースを併設した「チャレンジショップ事業」、商店街への集客や来街者の回遊促進のために行なう「イベント事業」、消費者及び観光客からの商店街に関する情報提供による利便性の向上を目的とした「情報提供事業」、消費者などのアンケート調査により継続事業のあり方を検討する「調査事業」の4つの事業で構成される。

#### (1) チャレンジショップ事業

##### 1) 事業概要

中心市街地空き店舗対策事業の対象となる空き店舗は、交通利便性、建造物の築年数や構造など改装の必要度合い、所有者の意向といったことから、物件の選定を行い、最終的に5店舗を候補にあげた。

出店希望者が実際に店舗を見学するなどして、候補空き店舗の中から選択してもらうこととした。

①募集店舗数：3店舗

②募集方法：新聞折り込みチラシ（約15,000枚）、大分合同新聞夕刊（4回掲載）、商工会議所ホームページ

③実施期間：平成14年9月から平成15年3月までのうち、6ヶ月間

④補助内容：家賃補助、入居保証金不要、改装費補助

##### 2) 事業実績

募集により、3店舗の新規出店と、加えて1区画の展示等の施設設置が決定した。

物件	店名	業種
本町商店街 (約14坪)	さかのせきネットクラブ (平成14年11月開業)	OA機器の販売だけでなく、定期的なパソコン教室も行う。
権現通り商店街 (約15坪)	フリーマーケット (平成14年10月開業)	新鮮野菜、冷凍野菜、塩干物、輸入食品・雑貨、地場加工品の販売。
西町商店街 (約15坪)	麦工房 森のクレヨン (平成14年11月開業)	八風園・福祉工場ウインドで製造したパン・クッキー等食品の販売を行う。ハンディキャップのある人と地元住民との福祉的交流を深めること、町民が気軽に集まり、飲食しながら語らえる憩いの場を提供する。
本町商店街 (約12坪)	商店街ふれあい交流館 (平成14年10月開設)	商店街連絡協議会が運営代表となり、「昔の佐賀関の写真」などを展示するギャラリーを主とする。希望者には展示スペースを提供し、消費者と商店街交流の場、来街者がくつろげる場とする。

(2) イベント事業

イベント事業は、チャレンジショップのオープンを祝い町内外への情報発信を目的に行なう「オープニングフェスティバル」、チャレンジショップと当該商店街の継続的な発展を支援し集客を目的とした「チャレンジショップ応援イベント」(計3回)、冬季集客と中心市街地での来街者回遊行動促進を目的とした「クリスマス・イルミネーション」の計5回のイベントを行なった。

**ぜひ観てください! 商店街の新しいお店!**  
◎チャレンジショップの紹介

ごあいさつ 空き店舗対策事業の「チャレンジショップ」が、国・大分県・佐賀両町の御支援のもと、いよいよオープンの運びとなりました。皆様 多数のご来店、商店街へのお越しをお待ち申し上げます。

① チャレンジショップ 【権現通り・元 ふないや】に「食品販売店」がオープン  
新鮮野菜、冷凍野菜、塩干物、直輸入食品・雑貨、地元産品・加工品などをお安くご奉仕いたします。

② チャレンジショップ 【本町・元 家具のあかり】に「商店街・交流館」が商店街の憩いの場、ギャラリーとしてオープン  
佐賀両町の懐かしい昔の写真をパネルにして展示します。お気軽に、お立ち寄り、おくつろぎください。

③ チャレンジショップ 【西町・元 首藤家電】に「麦工房森のクレーン3号店」がオープン  
社会福祉法人 暁雲福祉会(八風園を運営)が「麦工房森のクレーン3号店」を佐賀両町にオープン。福祉工場ウインドで製造した「パン」「クッキー」などの食品、障害者福祉施設の授産品を販売します。

◎交通規制のお知らせ  
10月6日(日)10:00~15:00の間、本町通りの一部(清水薬局さん~松本軒魚店さん)が道路通行止め、歩行者天国の交通規制を実施します。交通整理の指示により、道路の通行などのご協力をお願いいたします。 空き店舗対策事業実行委員会

◎オープニングフェスティバル  
空き店舗対策事業のオープニングイベント、**10月6日(日) 午前10時から開会!**  
楽しいイベントがいっぱいあります!  
ご家族、おそろいで商店街イベント会場にお越しください。  
☆商店街から、あなたの町へ、みんな笑顔がやってきました!  
【佐賀両町ちんどん愛好会】  
☆式典会場では:【早稲大餅保存会】○10:10~ ○12:00~  
【開会式】○10:30~  
【三商店街による 餅まき】○式典終了後  
【GLANZU シンセサイザー演奏】○13:00~

☆本町商店街の歩行者天国区画内では:  
【ななほパワック 参加者抽選】 ○10:30  
【NBU 日本文理大学チアリーディング部】 ○10:55~  
【ミニボーリングゲーム】 ○11:30~  
【トロッコ・カーリング参加者抽選】 ○13:00  
OBSテレビ「HEAT-U-P」番組収録  
【トロッコ・カーリング】 ○13:30~成功すれば賞金5ケット!  
参加者は30組(親子2人で1組)

☆西町商店街のイベント会場では:  
【ななほパワック】 ○11:00~ゴリラの中で購入ははたり!  
【パルーン】 ○11:00~無敵球に乗って、テイクオフ!  
OBSテレビ「HEAT-U-P」番組収録  
【ななほパワック】 ○11:30~成功すれば賞金5ケット!  
参加者30人限定

平成14年度 大分県中心市街地空き店舗対策事業 主催 佐賀両町商工会議所 TEL 097-575-1000  
協賛 本町・西町・権現通り商店街連絡協議会

オープニングフェスティバル・告知ポスター



オープニングフェスティバル  
「日本文理大チアリーディング部」



オープニングフェスティバル  
「佐賀両町ちんどん愛好会部」

(「平成14年度大分県中心市街地空き店舗対策事業報告書」より)

(3) 情報提供事業

情報提供事業では、消費者や来街者のための商店街情報及び観光等の地域情報を提供し、来街者の利便性の向上を図ることを目的として、次の3項目を実施した。

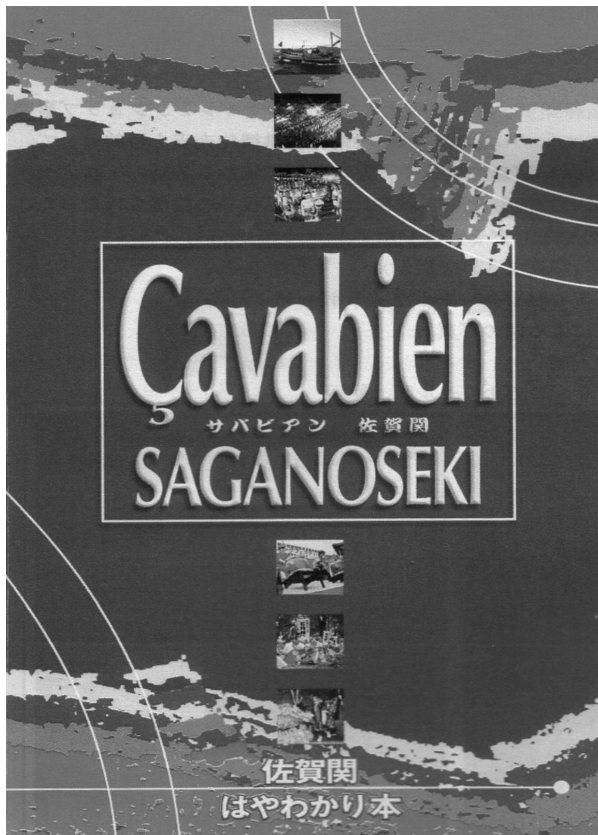
①ふれあい情報サロン

町民の情報機器への関心と技術力向上を目的に、無料パソコン教室を4日間開催した。

②ガイドブック作成

ガイドブック名：「サバビアン佐賀関～さかのせき はやわかり本」

- ・内 容：3商店街会員約90店舗の紹介、チャレンジショップのPR、食事処、観光ガイド、特産品紹介、イベント情報など
- ・様 式：カラー刷り50ページ、手帳大サイズ
- ・発行部数：3,000部
- ・配 布：商店街会員店、町産業課、観光協会、商工会議所関係各機関等



ガイドブック サバビアン佐賀関 (左) と掲載記事 (右)

(4) 調査事業

調査事業では、「商店街通行量調査」として3商店街の各所5地点で実施し、商店街会員への意識調査として「経営者調査」、来街者消費者の意識調査である「消費者調査」の3つの調査を行なった。

## 【効 果】

## (1) チャレンジショップ事業

新規開業者への事業機会を創出しただけでなく、これまで佐賀関町中心市街地に不足していた業種として焼きたてのパン販売や、若者向けの商品販売としてパソコン機器の販売等の事業者を誘致することができた。また、これまで商店街に欠けていた憩いや交流機能が、「ふれあい交流館」によって充足され、商店街歳末大売出しのイベント会場等商店街の行事を行なう場所としても活用された。これら合計4つの空き店舗の解消が図られるなど、チャレンジショップ事業により中心市街地の機能向上と再形成がなされた。

新規開業の2店舗は、支援期間終了後も営業を続けている。

## (2) イベント事業

商店街への集客などチャレンジショップ事業を支援する目的で行なわれ、クリスマス・イルミネーションを含む計5回のイベントにより商店街に賑わいを創出した。また「関あじ関さば祭」と同時開催することで県内外からも来街者があり、集客、回遊性、町内外との交流が促進された。

更に、イベント開催ごとに地元新聞社に取り上げられるなど、本事業の認知度の向上にも役立ったといえる。経営者意識調査でもイベント事業への評価は高く、今後も持続的な開催が期待されている。

## (3) 情報提供事業

中心市街地に不足している交流機能の補充を図り、チャレンジショップ事業により整備された「ふれあい交流館」の交流機能充実のために設置した、佐賀関の歴史を伝える常設展示や商店街掲示板伝言板は、消費者のみならず地域の子供たちもわかりやすく佐賀関町及び商店街の昔を伝えている。

また、町内外への商店街情報の発信を目的にガイドブック等の作成や無料パソコン教室を行なうことで、商店街を情報発信及び交流の場として活用させることに成功し、来街者の利便性を向上させたといえる。

## (4) 調査事業

交通量調査により商店街の現状の把握や、経営者及び来街者の本事業への評価、また商店街へのニーズを把握できたことで、今後の事業展開の方策を立案するための有用な資料となった。

## 【課題・反省点】

事業効果については、意識調査では評価されているものの委員会などでは「単発的である、一時的なもので終わっては意味が無い」という意見も出され、チャレンジショップなどによる商店街全体の発展は今後の継続的な取り組みにかかっているといえる。

## (1) 情報提供

新聞折り込みチラシ、ホームページなどでの広報は周知不十分だった。

## (2) 事業の合意形成

商工会議所議員、商店街会員への説明が不十分だったと反省している。

## 佐賀県商工会議所

### (3) 事業実施のノウハウ

県内他商工会議所実施報告を参考にし、県担当者のアドバイスを受けながら実施したが、約8ヶ月で30数回の会議は大変であった。

### (4) 事業費の確保について

補助金が前期と後期の2分割、交付は後期分が年度替りの5月であるため、支払いが困難であった。

## 【教 訓】

地元商店街会員から絶大なる支援協力が得られるように事前の説明や周知が重要である。

## 【関 連 U R L】

佐賀県商工会議所 <http://www.coara.or.jp/~eightman/>